

令和 7 年 度

事業計画及び
収支予算書

一般財団法人 静岡市動物園協会

一般財団法人静岡市動物園協会
令和 7 年度 事業計画
(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

I. 運営方針

静岡市動物園協会は、定款第 3 条で「非営利の一般財団法人として、静岡市及び関係諸団体との協働及び連携により動物園事業の発展振興を図り、併せて動物の愛護思想の普及により地域社会の健全な発展に寄与し、豊かな人間性を涵養すること」を目的としており、これに基づき動物園に係る、1.教育普及・イベントの推進（公益事業）、2.園内管理業務（受託事業）、3.物品・飲食物の販売（収益事業）を行っています。

本協会は、昭和 44 年 3 月に静岡市から出資を受け、財団法人として設立されました。その後、平成 24 年 2 月に、公益法人制度改革により財団法人から一般財団法人（移行法人）に移行し、そのために策定した公益目的支出計画が平成 30 年度に完了したことから、令和元年度に正式な一般財団法人として認可されました。

市の外郭団体として、市が求める役割（パートナー）を果たし、健全で安定的な経営基盤を確立するために策定した第 2 期経営計画（令和 5～8 年度）に基づき、毎年度の事業評価を実施することで目標達成に向けて取り組んでいきます。

本年度の事業計画については、コロナ禍後の継続的な入園者の減少や近年の原材料をはじめとする物価高騰及び適正な賃上げ等に伴う費用の増、また働き手不足など依然として経営を取り巻く環境が厳しい中ではありますが、1. 定款を踏まえた効果的な公益事業の推進、2. 受託事業の確実な履行とお客様満足度の向上、3. 収益事業における利益増に引き続き取り組むとともに、各事業経費の効率化、適正化を進めることで協会に求められる役割を的確に果たし、経営のより一層の改善と安定化を図ります。

II. 協会の組織

本協会は、法令や定款に基づき、議決・監督、執行、監査の 3 つの機関から構成されており、その組織及び主な役割は次のとおり。

機関名	組織名	主な役割
議決・監督機関	評議員会	評議員・理事・監事の選任及び解任、決算の承認、定款の変更
執行機関	理事会	業務執行の決定、理事の職務執行の監督、理事長の選定及び解職、事業計画・予算の承認
	理事長	協会の代表、業務の執行
	事務局	事務の処理
監査機関	監 事	理事の職務執行の監査、事業報告等の監査

Ⅲ. 事業計画

1. 公益事業＜実施事業等会計ほか＞

動物園やボランティア団体（日本平動物園ガイドボランティア等）と協働、連携し、動物園事業の発展振興、動物の愛護思想の普及を図るため、次の各種事業を実施する。

(1) 教育普及事業

子どもへの教育だけでなく、生涯教育の観点から、大人にも動物愛護の精神を育むとともに、命の大切さを学ぶ情操教育、自然を守る環境教育を実施する。

① めざせ！動物園博士

動物への理解促進イベントとして、クイズ形式による入門コース及び専門コースを実施する。また、日本平動物園学会を開催し、動物へのより一層の理解促進を図る。

区 分	内 容	令和7年度 実施予定	令和6年度 実績
入門コース	初心者を対象とした入門コースで、園内を周回するクイズラリー形式で実施。参加者の動物への理解を深める。	年2回	年2回 参加 34名
専門コース (4コース)	入門コース修了者を対象に、より専門的な知識を身に付けるため4種類の専門コースを実施。4コース修了者を動物園博士として認定。	各1回 (計4回)	計4回 参加 延56名 博士認定9名
日本平動物園学会	動物園博士認定者を対象に、専門講座、他園見学会を開催し、将来のガイドボランティア育成を図る。	2回	2回 参加 延54名

② 動物園親子教室

幼児（年中・年長）と保護者を対象に、動物クイズや工作を実施し、幼児期における動物を通じた情操教育を推進する。

区分	時期	テーマの動物（予定）	令和7年度 実施予定	令和6年度 実績
第1回	4, 5月	レッサーパンダ	1班（偶数月） 12組 24名 2班（奇数月） 12組 24名 各6回	1班（偶数月） 12組 24名 2班（奇数月） 12組 24名 各6回
2	6, 7月	ゾウ		
3	8, 9月	ペンギン		
4	10, 11月	トラ、ライオン		
5	12, 1月	ホッキョクグマ		
6	2, 3月	マレーバク、サイ		

③ ツアーガイド

学校団体等からの申込みに対し、ガイドボランティアが、動物の解説をしながら園内を回り、動物園について学び、理解を深めてもらう。

コース名	内 容	令和7年度 実施予定	令和6年度 実績
わくわくコース (小学生対象)	動物園や動物について学ぶ。	1グループ(10名 以内)にガイド1名 ※最大10グループ 100名程度まで	参加 27 団体 1,505 名
ドキドキコース (中学生対象)	動物園や動物について、少し掘り下げて学ぶ。		
フリーコース	動物園や動物について、対象者に応じていろいろな角度から観てもらう。		

④ ふれあい動物園（動物園事業の支援）

園飼育スタッフやガイドボランティアと共に、ふれあい館でウサギ・モルモットの小動物とのふれあいなどを実施し、それらを通じて命の大切さを学ぶ情操教育の推進に資する。

⑤ 学びプロジェクト（教育機関との連携）

近隣の教育機関に、動物に関する知識や教材、体験の機会を広く提供することで、命のつながり、人と自然とのつながりなどを実感し、学びを広め深めてもらう。

具体的には、こども園へ出張講話、ゾウのフンによる紙づくり、ミニツアーガイドや小学校児童による動物園スポットガイドの支援を実施する。

⑥ 市内中学生職場体験【新規】

静岡市内中学生を対象に働く人たちの生き方に目を向け、職場体験を通して働くことのやりがいや苦勞を感じ取り、職業についての意識を高め、将来の自分の進路に対する考えを深めてもらう。

(2) イベント推進事業

動物園に求められる役割の一つとしてレクリエーション機能があり、協会では、来園者に園内で楽しく過ごしていただくため、動物園との協働により、年間を通して様々なイベントを実施する。

① 年間を通じたイベント

時期	園主催事業	協会関連事業	
		令和7年度 実施予定	令和6年度 実績
4月	飼育の日（19日）	飼育の日有料イベント	「バクのユメクイ探検隊」 （3/30～4/21）
5月	ゴールデンウイーク	【新】市内中学生職場体験（4校：安東・東豊田・清水第7・大里）	早朝開園（8:00～） 有料イベント（アニマルレブ^n）
6月		有料イベント（スタンプラリー等）	有料イベント（アニマルレブ^n）
7月	七夕イベント	「全国公立動物園管理運営・事業連絡会総会並びに幹事会」 （7/11・12）「ホテルアソシア静岡」	
8月	開園記念日（1日）	無料入園	無料入園
	夏の動物園まつり	有料イベント（スタンプラリー等）	専門学校コラボ（スタンプラリー）
9月	世界レッサーパンダの日（第3土曜日）	レッサーパンダ FESTIVAL2025 有料イベント（スタンプラリー等）	レッサーパンダ FESTIVAL2024 「レッサーパンダのごはんだもんで」ウォークラリーイベント
	夜の動物園	夜間開園（17:30～21:00） 演奏会「しろくまキッチン」*1	夜間開園（17:30～21:00） 演奏会「レストハウス」
10月	秋の動物園まつり	有料イベント（スタンプラリー等）	「ゴマアザラシのハズバンダリートレーニング大作戦」ウォークラリーイベント カレンダー作り（クラフトイベント）
	夜の動物園	夜間開園（17:30～21:00） 演奏会「しろくまキッチン」	夜間開園（17:30～21:00） 演奏会「レストハウス」
11月		ロッシー祭 2025	ロッシー祭 2024
12月	冬の動物園まつり	有料イベント（スタンプラリー等）	迷探偵げんき（ウォークラリー）
1月			新年記念品配布（1/2～3）
2月			バニラ誕生日イベント
	国際ホッキョクグマの日（27日）	4園合同イベント（特別ガイド、缶バッジ（クラフト））*2	4園合同イベント（特別ガイド、缶バッジ（クラフト））
3月	春の動物園まつり	専門学校コラボ（スタンプラリー）	専門学校コラボ（スタンプラリー） 常葉大学コラボ（動物総選挙）

*1：食堂の名称変更 「レストハウス」～R6.12月、「しろくまキッチン」R7.1月～

*2：4園合同イベント：①札幌市円山動物園、②よこはま動物ゾーラシア、
③静岡市立日本平動物園、④地方独立行政法人天王寺動物園

② その他のイベント

公益事業に資するとともに、動物園及び協会が進める集客力の向上を図るため、前述のイベント以外にも、協会業務に関連したイベントや企画の実施に向けた取り組みを行う。

<入園者増対策イベント・企画>

イベント・企画名	内 容	令和6年度 実績
雨の日・平日来園者プレゼント	雨の日や平日の来園者に、取得ポイントに応じオリジナルグッズをプレゼント	120 件
年間パスポート購入者プレゼント	年間パスポート購入者に、パスケースとストラップをプレゼント	1,804 名
子育て応援イベント	来園した親子（未就学児）に、オリジナル缶バッジ等をプレゼント、再来園時も特典あり	89 名
入学おめでとうキャンペーン	小学校から大学までの新規入学者に、オリジナルグッズをプレゼント	3月2日から実施中

(3) 市民団体等の育成及び協働事業

動物園における愛護教育・環境教育の充実を図るうえで、ボランティア等の市民団体の役割は大きく、その窓口を担っている協会では、ボランティアの確保・育成と市民団体との協働事業の実施を推進していく。

① 日本平動物園ガイドボランティア

約 110 名が登録し、5 つの班と事務局で構成され、協会とともに、園内ガイド、ふれあい事業、親子教室、ツアーガイド、動物園博士などの活動を行っている。

ボランティアの確保・育成のため、新人研修（年 2 回）や養成講座を実施するとともに、運営に係る総会（年 1 回）や企画等に係る全体会議（毎月）を開催する。

また、静岡市の介護予防事業「しずおかちゃちゃちゃ」との連携により登録者増を図る。

② 花のボランティア活動

しろくまキッチン、エントランス、苗植え等（毎月第 1・3 火曜日）

③ 一般社団法人静岡市造園緑化協会との協働事業

季節の花々の植栽等（年 3 回）

(4) シティプロモーション事業（広報・宣伝事業）

静岡市では、市内外に向けて、国内で唯一、日本全国のレッサーパンダの血統管理を行っている当園を、「レッサーパンダの聖地」として積極的にPRし、市の魅力を発信している。

それに伴い、レッサーパンダの担当飼育員と共同で各個体の特徴を捉えたイラストを製作し、有料イベントの実施やオリジナルグッズの販売等を行い、お客様にレッサーパンダの“魅力”“聖地”としての取組みをPRしていく。

シティプロモーション事業は、動物園の安定した集客力を確保し、動物園事業の持続的な発展を図っていく上で重要であることから、協会では、今後も動物園と連携して、ホームページやSNS等を活用し、動物や動物園の魅力を伝える動画配信や各種イベント、オリジナルグッズを紹介するなど、積極的な情報発信に努めていく。



【国際レッサーパンダデー2025 イベント「レッサーパンダのごはんだもんで！」】



【レッサーパンダオリジナルグッズ】

左：「レッサーパンダの耳つき缶バッジ」 右：「アクリルお守り『^{まも}まも

2. 受託事業＜その他会計1＞

静岡市から、「静岡市立日本平動物園園内管理業務」「静岡市立日本平動物園入園料等徴収事務及び寄附金等収納事務」を受託し、仕様書に基づき受託事業として下表のとおり実施する。

この事業では、動物園内各施設を適切に管理するとともに、来園者の安全確保に努め、常に接客サービスの向上を図るなど、お客様が快適に楽しむことのできる環境の整備に取り組む。

項 目（場 所）		内 容	令和7年度重点取組
園内管理業務	(1) 売改札及び案内業務 ・ 正門 ・ 東門 ・ 情報コーナー	① 入園券の交付に関する事 ② 入園券の改札に関する事 ③ 入園等の案内に関する事 （園内放送及び遺失物等を含む） ④ 条例に基づく入園の拒否及び退園の命令に関する事	
	(2) 駐車場の運営 ・ エントランス駐車場 ・ 第1駐車場 ・ 第2駐車場 ・ 第3駐車場 ・ 第4駐車場 ・ 臨時駐車場	① 駐車場施設の保全・管理に関する事 ② 駐車票の交付・徴収に関する事 ③ 駐車場への誘導・整理に関する事 ④ 条例に基づく駐車拒否に関する事 ⑤ 駐車中の車両の監視に関する事 ⑥ 駐車場の入庫状況等について、適時市に報告すること、ほか	
	(3) 遊園地の運営 ・ オートチェアー ・ ローラースライダー ・ 遊園地（大型遊具、自動遊具）	① 遊戯施設の運転に関する事 ② 遊戯施設の維持・保全に関する事 ③ 使用券の交付・徴収に関する事 ④ 使用券の改札に関する事 ⑤ 遊園地を利用しようとする者の指導・監督に関する事、ほか	オートチェアー及びローラースライダーについては、市の運行方針の決定に基づき、適宜対応できる体制づくりに努める。
	(4) 動物園内の清掃業務 （動物収容施設を除く）	① 日常的な清掃 ・ 園路及び広場、各施設、休憩所、授乳室、遊園地、車両進入路、各駐車場、各トイレ ② 定期的な清掃 ・ 猛獣館、ビジターセンターの床面ワックスがけ	隅々まで行き届いた清掃による、清潔な施設と園内環境の維持
	(5) 入園者誘致にかかる各種事業の共同開発・実施	① 各種イベント・来園者サービスに関する事 ② 園内イベント等における来園者へのノベルティ配布に関する事 ③ 渋滞緩和対策に関する事 ④ ゴミの分別・禁煙の啓発等に関する事 ⑤ 団体客受入（予約確認）に関する事	・ 市内大学や専門学校とのコラボ事業の実施。 ・ ペットボトルの回収、分別方法の徹底。
徴収事務	入園料等徴収事務 寄附金等収納事務	① 入園料等の徴収、入園料等の現金・金券管理及び集計 （入園券、入園料等減額・免除通知書、使用券、駐車票、寄附金等） ② 寄附金の市への納入	正確な料金徴収と集計及び厳格な公金の管理

3. 収益事業＜その他会計2＞

動物園のレクリエーション機能の充実を図るため、園内における物販及び飲食等のサービス事業を実施する。また、公益事業として実施している教育普及事業等の財源を確保するため、事業収益の増を図る。

また、第2期経営計画（令和5～8年度）の3年目として、引き続き経営面における目標である売上増及び正味財産の黒字化を確実に実現するため、収益事業の改善に取り組む。

具体的には、園との協働による団体客等の誘客促進や来園者増に向けた各種イベントの開催（クイズラリー、ノベルティ配布等）、また売店グッズ・飲食メニューのリニューアルのほか経費削減の徹底や適切な価格設定、さらにはSNS等を活用した効果的な情報発信の強化を推し進めていく。

区 分	名 称	内 容	場 所
売店事業収入	第1売店「動物たちの森1」 第2売店「動物たちの森2」 第3売店「バード・ソング」 第4売店「ふれあい動物園前」 園外販売 通信販売	グッズ、軽食 グッズ 軽食 グッズ グッズ グッズ	エントランス内 エントランス外 しろくまキッチン前 しろくまキッチン併設 日本平パーキングエリア ドリームプラザ 計2店舗 SUZURI BASE 計2サイト
食堂事業収入	しろくまキッチン	食事	ふれあい動物園前
移動販売車収入	移動販売車 ・年間契約3台 ・臨時出店2台	軽食	エントランス内 遊園地前
その他事業収入	クレーンゲーム機（動物グッズ等） プリクラ機 菓子自販機 コインロッカー レンタル傘 双眼鏡貸出 ベビーカー貸出 自動遊具（硬貨式、15台） カプセルトイ販売機（動物グッズ等） ローラースライダー用貸靴・靴下販売 ガイドマシン（動物説明機13台）		エントランス エントランス エントランス エントランス 情報コーナー 情報コーナー 正面、東門入口 遊園地内 第1売店、第2売店、遊園地内 ローラースライダー乗り場 園内各動物前

収支予算書内訳表

令和7年 4月 1日から令和8年 3月31日まで

科 目	実施事業等会計	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1	他2	共通			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
特定資産運用益	0	60,000	15,000	0	0	0	75,000
特定資産受取利息	0	60,000	15,000	0	0	0	75,000
事業収益	1,701,000	190,861,000	161,614,000	0	0	0	354,176,000
教育普及事業収益	1,701,000	0	0	0	0	0	1,701,000
静岡市からの受託料収益	0	190,861,000	0	0	0	0	190,861,000
販売事業収益	0	0	154,179,000	0	0	0	154,179,000
売店事業収益	0	0	116,437,000	0	0	0	116,437,000
食堂事業収益	0	0	33,601,000	0	0	0	33,601,000
移動販売車収益	0	0	4,141,000	0	0	0	4,141,000
その他の事業収益	0	0	7,435,000	0	0	0	7,435,000
その他の収益	0	0	7,435,000	0	0	0	7,435,000
雑収益	301,000	6,000	542,000	0	523,000	0	1,372,000
受取利息	1,000	0	0	0	0	0	1,000
雑収益	300,000	6,000	542,000	0	523,000	0	1,371,000
経常収益計	2,002,000	190,927,000	162,171,000	0	523,000	0	355,623,000
(2) 経常費用							
事業費							
役員報酬	6,055,000	0	0	0	0	0	6,055,000
職員給料	611,000	0	0	0	0	0	611,000
職手当	1,289,000	0	0	0	0	0	1,289,000
臨時雇賃金	834,000	0	0	0	0	0	834,000
退職給付費用	389,000	0	0	0	0	0	389,000
福利厚生費	817,000	0	0	0	0	0	817,000
旅費研修費	486,000	0	0	0	0	0	486,000
通信運搬費	129,000	0	0	0	0	0	129,000
広報宣伝費	30,000	0	0	0	0	0	30,000
会議費	62,000	0	0	0	0	0	62,000
消耗什器備品費	2,000	0	0	0	0	0	2,000
消耗品費	52,000	0	0	0	0	0	52,000
被服費	270,000	0	0	0	0	0	270,000
光熱水費	22,000	0	0	0	0	0	22,000
印刷製本費	56,000	0	0	0	0	0	56,000
賃借料	56,000	0	0	0	0	0	56,000
	105,000	0	0	0	0	0	105,000

(単位:円)

収支予算書内訳表

令和7年 4月 1日から令和8年 3月31日まで

科 目	実施事業等会計	その他会計				法人会計	内部取引控除	合 計
		他1	他2	共通	小 計			
保険料	191,000	0	0	0	0	0	0	191,000
諸謝金	77,000	0	0	0	0	0	0	77,000
租税公課	20,000	0	0	0	0	0	0	20,000
支払負担金	52,000	0	0	0	0	0	0	52,000
支払手数料	31,000	0	0	0	0	0	0	31,000
支払補助金	210,000	0	0	0	0	0	0	210,000
委託費	257,000	0	0	0	0	0	0	257,000
雑費	7,000	0	0	0	0	0	0	7,000
受託事業費	0	187,568,000	0	0	187,568,000	0	0	187,568,000
役員報酬	0	3,969,000	0	0	3,969,000	0	0	3,969,000
職員給料	0	77,956,000	0	0	77,956,000	0	0	77,956,000
諸手当	0	43,001,000	0	0	43,001,000	0	0	43,001,000
臨時雇賃金	0	9,328,000	0	0	9,328,000	0	0	9,328,000
退職給付費用	0	4,107,000	0	0	4,107,000	0	0	4,107,000
福利厚生費	0	22,682,000	0	0	22,682,000	0	0	22,682,000
諸謝金	0	503,000	0	0	503,000	0	0	503,000
旅費研修費	0	806,000	0	0	806,000	0	0	806,000
消耗什器備品費	0	369,000	0	0	369,000	0	0	369,000
消耗品費	0	2,501,000	0	0	2,501,000	0	0	2,501,000
通信運搬費	0	199,000	0	0	199,000	0	0	199,000
被服費	0	299,000	0	0	299,000	0	0	299,000
広報宣伝費	0	269,000	0	0	269,000	0	0	269,000
燃料費	0	396,000	0	0	396,000	0	0	396,000
修繕費	0	425,000	0	0	425,000	0	0	425,000
印刷製本費	0	258,000	0	0	258,000	0	0	258,000
保険料	0	846,000	0	0	846,000	0	0	846,000
支払手数料	0	853,000	0	0	853,000	0	0	853,000
支払負担金	0	30,000	0	0	30,000	0	0	30,000
貸借料	0	681,000	0	0	681,000	0	0	681,000
委託費	0	1,546,000	0	0	1,546,000	0	0	1,546,000
会議費	0	11,000	0	0	11,000	0	0	11,000
租税公課	0	16,093,000	0	0	16,093,000	0	0	16,093,000
光熱水費	0	365,000	0	0	365,000	0	0	365,000
雑費	0	75,000	0	0	75,000	0	0	75,000
営業費	0	0	88,122,000	0	88,122,000	0	0	88,122,000
売店費	0	0	65,472,000	0	65,472,000	0	0	65,472,000
売店商品費	0	0	62,061,000	0	62,061,000	0	0	62,061,000
売店光熱水費	0	0	1,455,000	0	1,455,000	0	0	1,455,000

(単位:円)

収支予算書内訳表

令和7年 4月 1日から令和8年 3月31日まで

科 目	実施事業等会計	その他会計				法人会計	内部取引控除	合 計
		他1	他2	共通	小 計			
売店賃借料	0	0	756,000	0	756,000	0	0	756,000
売店雑費	0	0	1,200,000	0	1,200,000	0	0	1,200,000
食堂費	0	0	22,650,000	0	22,650,000	0	0	22,650,000
食堂材料費	0	0	14,549,000	0	14,549,000	0	0	14,549,000
食堂光熱水費	0	0	4,812,000	0	4,812,000	0	0	4,812,000
食堂賃借料	0	0	2,089,000	0	2,089,000	0	0	2,089,000
食堂雑費	0	0	1,200,000	0	1,200,000	0	0	1,200,000
営業管理費	0	0	67,141,000	0	67,141,000	0	0	67,141,000
役員報酬	0	0	1,221,000	0	1,221,000	0	0	1,221,000
職員給料	0	0	23,206,000	0	23,206,000	0	0	23,206,000
諸手当	0	0	12,201,000	0	12,201,000	0	0	12,201,000
臨時雇賃金	0	0	10,213,000	0	10,213,000	0	0	10,213,000
退職給付費用	0	0	962,000	0	962,000	0	0	962,000
福利厚生費	0	0	6,675,000	0	6,675,000	0	0	6,675,000
旅費研修費	0	0	348,000	0	348,000	0	0	348,000
通信運搬費	0	0	159,000	0	159,000	0	0	159,000
広報宣伝費	0	0	83,000	0	83,000	0	0	83,000
減価償却費	0	0	34,000	0	34,000	0	0	34,000
消耗什器備品費	0	0	206,000	0	206,000	0	0	206,000
消耗品費	0	0	783,000	0	783,000	0	0	783,000
修繕費	0	0	200,000	0	200,000	0	0	200,000
印刷製本費	0	0	79,000	0	79,000	0	0	79,000
被服費	0	0	152,000	0	152,000	0	0	152,000
賃借料	0	0	909,000	0	909,000	0	0	909,000
保険料	0	0	108,000	0	108,000	0	0	108,000
光熱水費	0	0	112,000	0	112,000	0	0	112,000
委託費	0	0	1,689,000	0	1,689,000	0	0	1,689,000
会議費	0	0	3,000	0	3,000	0	0	3,000
支払手数料	0	0	1,071,000	0	1,071,000	0	0	1,071,000
支払負担金	0	0	39,000	0	39,000	0	0	39,000
諸謝金	0	0	155,000	0	155,000	0	0	155,000
租税公課	0	0	6,425,000	0	6,425,000	0	0	6,425,000
雑費	0	0	108,000	0	108,000	0	0	108,000
管理費	0	0	0	0	0	985,000	0	985,000
役員報酬	0	0	0	0	0	305,000	0	305,000
職員給料	0	0	0	0	0	166,000	0	166,000
諸手当	0	0	0	0	0	105,000	0	105,000

(単位:円)

収支予算書内訳表

令和7年 4月 1日から令和8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計			法人会計	内部取引控除	合 計
		他1	他2	共通			
福利厚生費	0	0	0	0	98,000	0	98,000
旅費研修費	0	0	0	0	62,000	0	62,000
通信運搬費	0	0	0	0	15,000	0	15,000
会議費	0	0	0	0	1,000	0	1,000
減価償却費	0	0	0	0	24,000	0	24,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	1,000	0	1,000
被服費	0	0	0	0	21,000	0	21,000
印刷製本費	0	0	0	0	1,000	0	1,000
光熱水費	0	0	0	0	5,000	0	5,000
賃借料	0	0	0	0	29,000	0	29,000
保険料	0	0	0	0	52,000	0	52,000
諸謝金	0	0	0	0	10,000	0	10,000
租税公課	0	0	0	0	39,000	0	39,000
支払負担金	0	0	0	0	3,000	0	3,000
支払手数料	0	0	0	0	2,000	0	2,000
委託費	0	0	0	0	15,000	0	15,000
雑費	0	0	0	0	30,000	0	30,000
経常費用計	6,055,000	187,568,000	155,263,000	0	985,000	0	349,871,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-4,053,000	3,359,000	6,908,000	0	-462,000	0	5,752,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-4,053,000	3,359,000	6,908,000	0	-462,000	0	5,752,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計							
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	4,053,000	-1,287,000	-3,228,000	0	462,000	0	0
その他会計他1振替額	825,000	0	0	0	462,000	0	1,287,000
その他会計他2振替額	3,228,000	0	0	0	0	0	3,228,000
実施事業等会計振替額	0	-825,000	-3,228,000	0	0	0	-4,053,000
法人会計振替額	0	-462,000	0	0	-462,000	0	-462,000
法人税等	0	2,072,000	2,213,000	0	4,285,000	0	4,285,000
その他会計他1法人税	0	2,072,000	0	0	2,072,000	0	2,072,000
その他会計他2法人税	0	0	2,213,000	0	2,213,000	0	2,213,000
当期一般正味財産増減額	0	0	1,467,000	0	1,467,000	0	1,467,000

収支予算書内訳表

令和7年 4月 1日から令和8年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計				法人会計	内部取引控除	合 計
		他1	他2	共通	小 計			
一般正味財産期首残高	5,049,588	50,070,730	79,800,029	0	129,870,759	20,024,595	-8,603,000	146,341,942
一般正味財産期末残高	5,049,588	50,070,730	81,267,029	0	131,337,759	20,024,595	-8,603,000	147,808,942
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部								
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	5,049,588	50,070,730	81,267,029	0	131,337,759	20,024,595	-8,603,000	147,808,942